

平成30年7月13日

愛媛大学

## 愛媛大学「グローバルサイエンスキャンパス」受講生募集を開始

愛媛大学は、科学技術振興機構(JST)の平成30年度「グローバルサイエンスキャンパス」に採択され、今年度を含めてこれから4年度間、この事業に取り組んでいくこととなり、平成30年度受講生の募集を開始致しました。

「グローバルサイエンスキャンパス」とは、大学が、将来グローバルに活躍しうる傑出した科学技術人材を育成することを目的として、卓越した意欲・能力を有する高校生等を募集・選抜し、選抜を通過した生徒(受講生)に対して国際的な活動を含む高度で体系的な理数教育プログラムの開発・実施等を行うものです。

つきましては、地域へ広く周知いただきますとともに、取材くださいますようお願いいたします。

### 【受講生の募集について】

受付期間：平成30年7月13日(金)～平成30年8月6日(月)

対象：高校1～2年生及び中等教育学校4～5年生

遠隔地からの受講も対応します(一部の講義は自宅や在籍校でも聴講可能)。

募集人数：約40名

受講料：無料

応募方法：愛媛大学グローバルサイエンスキャンパスホームページ

<https://ehime-u-gs.jp> の応募フォームからお申し込みください。

※本学が実施する事業の詳細は、別添リーフレットをご参照ください。

また、科学技術振興機構「グローバルサイエンスキャンパス」事業の詳細については、同機構のホームページ(<https://www.jst.go.jp/cpse/gsc/about/index.html>)をご参照ください。

※送付資料枚3枚(本紙を含む)

本件に関する問い合わせ先

愛媛大学 eGS 係

コーディネータ 教授 林 秀則

TEL 089-927-9606

E-Mail: [info@ehime-u-gs.jp](mailto:info@ehime-u-gs.jp)

HP: <https://ehime-u-gs.jp>



## 応募について

- 対象**…………… 高校1～2年生及び中等教育学校4～5年生  
遠隔地からの受講も対応します(一部の講義は自宅や在籍校でも聴講可能)
- 定員**…………… 約40名
- 応募締切**…… 8月6日
- 応募方法**…… ホームページ <https://ehime-u-gs.jp> の申し込みページに必要事項を記入して送信してください。

## 受講の流れ

- ホームページから申し込み
- 一次選抜  
応募情報とプレチャレンジ(講義、実習、レポート作成)によって約40名の受講生が決定します。プレチャレンジは8月下旬の土曜日または日曜日の午前または午後3～4時間、実施予定です。内容は[数学・物理]、[化学・生物]、「地学・環境」のいずれかから選択できます。
- 基盤学習の日程  
翌年2月まで基盤学習(講義と実習)を受講します。基本的に土曜の午後、約4時間、場合によっては日曜、祝日に実施されます。
- 基盤学習の内容  
基盤学習の講義は原則、月4回実施されます。数理・物質科学分野と生命・環境科学分野のものがあり、自由に選択できますが、少なくとも月1回は受講する必要があります(複数回受講してもかまいません)。一部の授業については自宅や在籍校から学習できます。
- 二次選抜  
基盤学習の学習到達度によって二次選抜が行われ、約15名が展開学習(課題研究の展開)を開始します。
- 展開学習の日程  
展開学習(課題研究)は通常翌年2月頃に開始しますが、条件によって10月頃に開始できる場合があります。週に2～3回実験を行ったり、あるいは春休みなどを利用して集中的に研究に取り組むことも可能です。
- 課題研究の内容  
課題研究のテーマは受講生が主体的に決定します。基盤学習を受講する間にブレインストーミングによって課題研究のテーマを考え、教員と相談の上、大学の研究室などで研究に取り組みます。月1回程度、受講生全員が研究成果を報告し、相互に課題研究の内容を考えます。
- 発展学習  
基盤学習と並行して、英語による実習や留学生との交流によって英語に親しみます。学外の研究機関や企業に行き研修を受けることもあります。翌年3月以降、課題研究の成果をとりまとめ、学会などで口頭やポスターで発表します。国際会議などにおける英語での発表にもチャレンジします。

## 育てたい人材 || グローバル科学技術人材 (愛媛から世界にはばたく理系人材)



科学力と国際力を伸ばす  
次世代科学技術人材の  
育成プログラム

理科の大好きな皆さん、将来、科学者や研究者、  
技術者を目指している皆さん、  
愛媛大学のこのプログラムで先端科学技術を学び、  
サイエンスを語り、課題研究に取り組んで、  
一足早く、世界に飛び出してみませんか？

受講生募集



問い合わせ

愛媛大学 eGS係 <https://ehime-u-gs.jp>  
電話 089-927-9606 E-Mail [info@ehime-u-gs.jp](mailto:info@ehime-u-gs.jp)

連携機関

松山大学・愛媛県教育委員会・愛媛県総合教育センター・  
香川県教育委員会・徳島県教育委員会・高知県教育委員会



愛媛で学び、世界を目指せ!!

愛媛大学 EHIME UNIVERSITY グローバルサイエンスキャンパス



# 愛媛大学 グローバルサイエンスキャンパス

## 科学力と国際力を伸ばす 次世代科学技術人材の育成プログラム

受講  
して欲しい  
人材像

理科好きのみならず、たとえば以下のような夢や希望を持っていませんか？これをかなえるためには、専門的な知識や技術に加え、現代では国際的な素養も必要になります。

- 生命から宇宙に至る様々な自然現象に強い関心があり、科学者として活躍したい。
- 実験や物作りが好きで、大学や研究機関などで働きたい。
- 精密機器やITを駆使した先端的研究に興味があり、関連した職業に就きたい。
- 先端科学や科学的思考法を学び、科学的素養を企業やマスコミで活かしたい。
- 国際的な科学研究プロジェクトに参加し、海外で活躍したい。

国際的に活躍する人になるためには、世界基準での科学技術を学ぶことが重要です。愛媛大学は優れた先端研究センター群を擁し「愛媛から世界に発信する大学」です。また愛媛県には住友化学(株)、住友金属鉱山(株)、今治造船(株)、東レ(株)、帝人(株)などの国際的に活躍する多くの科学系の企業が立地しています。このような愛媛の研究資産や産業技術を活用して、世界基準での科学技術への深い理解を養い、グローバルな視点で科学技術にイノベーションを起こし、世界で活躍する科学技術人材を育成することが、このプログラムの目的です。

このプログラムには科学的センスと国際的センスを習得するための1年以上継続した学習内容が用意され、次のような人材の育成を目指しています。したがって、将来、科学技術分野で活躍したいと思っている人は、ぜひこのプログラムを受講して一足早く世界にチャレンジして下さい。

- 世界基準の科学技術への深い理解をもつ
- 既存の科学技術を理解した上で、ブレークスルーとなり得る疑問を持つ
- 疑問を解決するために粘り強く、多角的に情報を分析し、解決法を考へつく
- 多方面から意見や協力を取り入れて、相乗的に課題を深化させる
- 研究成果を世界に向かって伝播できる

**ステップ ①** 基礎科学から先端科学に至る体験型講義を毎月4回実施し、毎回フリーディスカッションを行う。インターネットによる自宅学習にも対応

**ステップ ②** 受講生の希望のテーマで課題研究を実施。開始時期及びテーマのマッチング等は柔軟に対応。相互に内容を把握し、相乗的に課題を深化させる

**ステップ ③** 留学生や外国人研究者などとの交流、科学技術英文の読解などによる国際性の育成、及び国内外の学会発表などによるプレゼン能力の育成

内容

募集対象

高校1～2年生及び中等教育学校4～5年生

募集人数

募集人数 40名 …… 受講費 無料

ホームページ参照  
<https://ehime-u-gs.jp>

愛媛大学eGS

## 愛媛と世界を結ぶ科学技術、資源・産業を活かした 新産業を創出し、世界で活躍する科学技術人材育成

7～8月

応募・書類提出・プレチャレンジ

### 一次選抜

ステップ  
①

8月～翌年2月

40名

講義と実習:月4回  
(類似のテーマを2回実施)  
英語で実施することもある  
フリーディスカッションの時間を確保  
e-ラーニング、ICTなどによる学習

### 基礎学習

#### 講義、実験、討論

基礎知識、基本技術  
観察力、洞察力  
情報分析力、論理的思考力  
課題発見力  
研究倫理、生命倫理  
基礎的科学英語力  
などを育成



### 二次選抜

ステップ  
②

希望の  
研究テーマあり  
10月以降随時  
約5名

テーマの最適化  
→担当教員の選定  
→研究開始  
(10月以降随時)

希望の  
研究テーマなし  
12月ごろ選抜  
約10名

研究テーマ設定  
→ブレインストーミング  
→テーマの絞り込み  
→担当教員の選定  
→研究開始(2月頃)

大学および在籍校で  
研究推進  
研究進捗状況の発表・  
フリーディスカッション  
留学生・海外の高校生  
と交流  
研究機関・企業・国際  
学会の見学

### 展開学習

#### 探究活動、課題研究、発表

先端科学研究への取り組み  
シナジェティックな研究展開  
先端科学技術の理解  
独創性、創造性  
主張と共感、協調と連携  
切磋琢磨、連帯意識  
リーダーシップ  
などを育成

ステップ  
③

10月～翌年8月

課題研究の推進・結果のまとめ  
受講生の報告会(学内)  
学会やコンテスト  
初年度生による次年度生の指導  
海外研究者との交流(国内および国外)  
企業研修、海外研修

### 発展学習

#### 学会参加、企業研修、海外研修

国際性、異文化理解  
専門分野の英語力  
科学技術論文の読解  
英会話力、プレゼン能力  
世界基準の科学技術の理解  
グローバルな視点  
勤労意欲、将来展望  
などを育成

